

平成30年1月相模原市教育委員会定例会

日 時 平成30年1月12日(金曜日)午後2時30分から午後3時54分まで

場 所 相模原市役所 教育委員会室

日 程

1. 開 会

2. 会議録署名者の決定

3. 議 事

日程第 1 (議案第1号) 相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審査会への
諮問について(学校教育部)

日程第 2 (議案第2号) 相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審査会への
諮問について(学校教育部)

日程第 3 (議案第3号) 保有個人情報に係る審査請求に対する裁決について
(学校教育部)

4. 報告案件

1 相模原市議会(平成29年12月定例会議)報告について(教育総務室)

5. 閉 会

出席者(5名)

教 育 長 野 村 謙 一

教育長職務代理者 永 井 博

委 員 大 山 宣 秀

委 員 永 井 廣 子

委 員 平 岩 夏 木

説明のために出席した者

教 育 局 長 笹 野 章 央 教 育 環 境 部 長 渡 辺 志 寿 代

学 校 教 育 部 長 奥 村 仁 生 涯 学 習 部 長 長 谷 川 伸

教 育 局 参 事 兼 大 用 靖 教 育 総 務 室 江 野 学
教 育 総 務 室 長 担 当 課 長

教育局参事兼 総合学習センター所長	齋藤嘉一	教育環境部参事兼 学務課長	八木英次
教育環境部参事兼 学校保健課長	荒井哲也	教育環境部参事兼 学校施設課長	杉野孝幸
学校教育課長	松田知子	教職員人事課 担当課長	農上勝也
教職員人事課 副主幹	渡部賢一	教職員人事課 副主幹	鴨宮結花
教職員給与厚生課長	佐野強史	教職員給与厚生課 総括副主幹	小田島直美
教職員給与厚生課 主事	新倉亜弥香	生涯学習部参事兼 文化財保護課長	佐藤正五
スポーツ課 担当課長	喜多村猛司	図書館長	新堀朋子
事務局職員出席者 教育総務室主任	島崎順崇	教育総務室主任	齋藤竜太

開 会

野村教育長 では、ただいまから相模原市教育委員会 1 月定例会を開催いたします。

本日の出席は 5 名で、定足数に達しております。

本日の会議録署名につきましては、永井博委員と私、野村を指名いたします。

はじめに、お諮りをいたします。

本日の会議の日程 1、議案第 1 号「相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審査会への諮問について」から、日程 3、議案第 3 号「保有個人情報に係る審査請求に対する裁決について」までの 3 つの議案については、個人情報が含まれる内容でございますので、公開をしない会議として取り扱い、報告事項 1「相模原市議会（平成 29 年 12 月定例会議）報告について」を、公開の会議として取り扱うことでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

野村教育長 では、ご異議がございませんので、本日の会議は、日程 1 から日程 3 までを公開しない会議とし、報告事項 1 については、公開の会議といたします。

なお、公開しない会議とする案件は、本定例会の最後に審議をすることといたします。

相模原市議会（平成 29 年 12 月定例会議）報告について

野村教育長 それでは、報告事項 1「相模原市議会 平成 29 年 12 月定例会議 報告」について、事務局より説明をいたします。

大用教育総務室長 報告事項 1 について、ご報告をさせていただきます。

市議会の 12 月定例会議につきましては、11 月 21 日から 12 月 22 日までの日程で開催されました。お手元でございます資料は、12 月定例会議の代表質問と一般質問の教育委員会関係の質疑の一覧となります。

恐れ入りますが、4 ページをご覧くださいと存じます。

代表質問は 5 名の議員から 43 問の質問があり、質疑の内容につきましては、5 ページから 20 ページのとおりでございます。

続きまして、23 ページをご覧くださいと存じます。

一般質問は 16 名の議員から 48 問の質問がございまして、質疑の内容につきましては 24 ページから 40 ページのとおりでございます。代表質問及び一般質問の概要としまし

ては、学校関係分野として、新たな奨学金制度、学校規模の適正化に向けた取組、いじめ防止に向けた取組、外国語教育に関する取組、食育・学校給食などについての質問がございました。

また、生涯学習関係分野としましては、淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画や、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた取組をはじめとした、スポーツ振興などについての質問がございました。

ここで、一つひとつの質問と答弁に関する報告は省略させていただきますが、何かご質問等がございましたら、担当課からお答えをさせていただきたいと存じます。よろしくお願いたします。

野村教育長 説明が終わりました。質疑、ご意見がございましたらお願いたします。

永井（廣）委員 この資料の12ページの中ほどにある、自転車安全教育についてですが、中央区と南区は県内で見ても自転車事故の多い地域です。

答弁では、小中学校においても自転車による交通事故の防止に向けて交通ルールを守ることや安全確認を十分に行うことの大切さを学んでおりますとありますが、子どもたちは小学校1年生になったら、補助がない自転車で自由に親の監視なしに走り回るとというのが現状かと思えます。

中央区では、チリリンスクールという自転車安全運転講習がありまして、自転車の技能や安全対策などを教えてくれていますが、対象が小学校3年生になっているので1、2年生の間はルールをしっかり学ぶことなく走っている場合があるのではないかとということで、大変心配しております。

小学校低学年の子どもが自転車を運転している際に、通行されている方とぶつかりそうになったとしても「うん、いいよ。大丈夫だよ」と言って許してくれることもあろうかと思いますが、やはり取り返しのつかない事故が起きてしまってからでは遅いので、1人で自転車に乗れるようになる前に、きちんとした交通ルールを親子で学べるような機会があれば事故も減るのではないかと思います。その点について、何かお考えになっていらっしゃることはありますか。

松田学校教育課長 ご指摘のとおり、市内の自転車事故が多い実態がございます。学校におきましては、交通安全教室で実際に自転車を使って教室を行っております、そちらについては昨年度のデータですが、小学校で64校が実施しております。学校によって差はありますが、低学年の1、2年生でやっている学校もあると承知しております。今後も発

達段階に応じた指導を継続してまいります。

永井（廣）委員 ありがとうございます。

野村教育長 よろしいでしょうか。他にはいかがでしょうか。

永井（廣）委員 もう2点ほどお伺いします。1点目は中学校における給食の喫食時間の短さになります。15分ぐらいしかない学校が多いのではないかと思うのですが、よく噛む、きちんと消化するという観点からもう少ししっかりとご飯を食べる時間を確保していただくとありがたいなと思うのですが、いかがでしょうか。

2点目は、淵野辺駅南口に係るまちづくりの件ですが、複合施設を作り、床面積を20%削減する方針があるようですが、子どもの居場所づくりのために、その20%を削減せずに使っていただくことはできないのかと考えています。集約が検討されている現施設の諸室の面積以外で、子どもたちの居場所があったような気がします。例えば、青少年学習センターのロビーや公民館の1階や3階のロビーに机と椅子がありまして、そこで勉強をしたり雨の日に子どもたちが集まり、夏はエアコンが効いているところで遊んでいることがあります。子どもたちの居場所の確保については、何年も前からまちづくり会議などで話題となっておりますが、今回の事業はいい機会だと思うので、ぜひその視点も含めて検討をしていただきたいと思います。

また、公園内に子どもたちが自由にボール遊びができる場所の設置についても、一緒に考えていただければと思います。

野村教育長 では、順番にいきましょうか。

まず、喫食時間のことについての質問ですが、議会の中でも答弁をしましたが、そのことを改めてお話しいただけますか。

松田学校教育課長 資料と重複するところもあると思いますが、喫食時間につきましては15分から20分は確実にとっているところです。また、食べ始める前に準備の時間として5分から10分とるとともに、食後はすぐに授業が始まるわけではないので、それを踏まえると30分から40分の時間が確保できております。

お子さんの個人差もありますから、十分に喫食できない場合については、その後の時間を使うなど個々に応じた対応をしております。今後も適切な喫食時間を確保していくために、より良い日課づくりについて検討してまいります。

野村教育長 次に、淵野辺駅南口の件についてお願いします。

新堀図書館長 現在、検討を進めております計画の中では延床面積を縮小する部分として、

現施設の共用部分であるエントランスやトイレ、階段、廊下などを想定しておりまして、集約化し複合施設となった場合には、それらの面積が減少する見込みでございます。

延床面積の20%を削減することは、公共施設マネジメント推進プランで示されております目標でございますが、諸室や必要な面積については、各施設の利用実態を踏まえて今後検討してまいります。

その中で、特に子どもの居場所につきましても現在の利用実態をきちんと把握しながら検討するとともに、鹿沼公園内に複合施設を設置することになりましたら、公園全体のリニューアルということも考えておりますので、ボール遊びができる場所の設置につきましても、あわせて検討してまいります。

野村教育長 少し補足をしますと、今、出ている面積というのは基本計画の中で市全体の公共施設のマネジメントプランの中で2割削減していこうという目標に沿った中に出しているものであって、何ら確定しているものではないです。今、図書館長が説明しましたように、少なくとも共用部分については削減できると考えておりまして、各諸室については実態の面積を小さくすることなく使えるのではないかとこの考えが基本にはあります。

一方で、大野北公民館は市内でも最も利用率が高いわけですから、必要な面積をこれから検討してまいります。

また、青少年学習センターなどは今でも利用率が決して高くないため、社会的なニーズや利用実態に合わせた中で、それにふさわしい面積を決めていくものと理解をさせていただきたいと思います。

そうした状況を踏まえまして、現在の計画案は柔軟なものであるということを理解いただきたいと思います。

それから、子どもの居場所につきましては、既に夏休み期間中や休日の居場所づくりが大きな問題になっています。これについては、例えば学校の校庭を開放するなど、これから検討を進めなければいけない重要な案件だと承知しており、今後、総合教育会議での話題になり得る課題であると捉えております。

また、議会の関係で概要の説明が教育総務室長からありましたけれども、若干補足をさせてもらいますと、今回の議会では大きな柱として奨学金条例や公民館の有料化、こども・若者未来基金の設立などがございまして、教育委員会が深く関与している案件が、大きな議題となったところであります。

それ以外にも、先ほどお話がありました、英語教育についても積極的に取り組むべきで

あるというご意見であったり、学校給食ではより良い食材を使ってほしい、喫食率を上げてほしい、適正な喫食時間を確保することについての議論がございました。

また、青根小・中学校の統合についての質問もありまして、相武台、光が丘地域についても児童、生徒の減少が想定されるため、地域や保護者のご意見を伺いながら望ましい学習環境の実現に向けた協議を進めていくと、答弁したところでございます。

それから、淵野辺駅南口の公共施設の再整備については、公園機能の維持の問題や住民、利用者の意見をよく聞いた上で、進めていくことが重要だというご意見をいただきまして、やりとりをかなりいたしました。これに関しては教育委員会でも、図書館においてワークショップを既に開催しており、明日で3回目となります。ワークショップでは、どういった施設づくりが望ましいかというご意見を聴いておりまして、こうした活動が必要であろうという意見が議員から出されたところです。この事業については、現在パブリックコメントを実施しておりますが、期間を2週間延長して、今月いっぱい継続することとなっております。

そのほかの話題ですと、文化財の積極的なPRが必要だろうというお話がありました。田名向原遺跡や国内でも有数の文化財が本市にはあるわけですから、こうしたものについて積極的なPRをするべきだという、ご意見もございました。

今回の議会は、去年は一般質問で6人だったのが今年は16人ということで、教育委員会への質問が非常に多かったわけですが、これはとても良いことでして、教育施策について多くの議論ができていくということで、教育委員会としてはありがたいと思っています。

ざっと補足をしましたが、今お読みになっていて何かございますか。

平岩委員 英語教育についてお伺いしたいことがあります。本格的なものは先になります。が、小学校3、4年生から実際に導入がされるということで、学校の先生たちが抱えている不安や悩みを解消する研修を実施していただいているのですが、相模原市の場合には今回の学力調査でもわかったように、つまずきが3、4年生に多い状況でして、そこに英語が加わってくるため、先生方はもちろん、子どもたちも不安なく授業に取り組んでいただきたいと思っています。実際に先生方への研修が行われている中で、実感として先生方の不安解消がどの程度図られてきているのか、実状をお伺いしたいと思います。

総合学習センター所長 研修を通じての実感でございますが、正直申し上げて、不安があるという声を聞いているところでございます。そのため、次年度からは英語教育に対する不安を解消するため、総合学習センターを会場として夕方午後4時から研修を行うなど、

きめ細かく先生方の対応をさせていただきたいと考えているところでございます。

野村教育長 そうですね、英語教育についてはこういった児童・生徒に教育をするのかというのと同時に、今、ご指摘をいただいたように先生方への研修や指導力の向上を図ることも大きな課題だととらえています。そのために、来年度予算で英語教育コーディネーターの採用であったり、幾つか新たな施策を実施する方向で検討しておりますので、内容については、皆様に改めてご説明をさせていただきたいと思えます。

他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声)

野村教育長 では、この話題についてはここで終わらせていただきます。

次に、前回12月定例会から今日までの私の活動内容を報告させていただきます。

先月12月9日には、ユニセフのハンド・イン・ハンドの募金活動に参加してまいりました。この事業は横浜市、川崎市、平塚市、本市の県内4つの自治体が参加しており、私もユニセフの理事になっております。当日は、新町中学校、上鶴間中学校、谷口中学校、大野南中学校、相模台中学校の5校の生徒とともに相模大野駅で約2時間から3時間ぐらい募金活動をしてまいりまして、非常に有意義な活動であったと思います。できれば、こうした活動をもう少し、市内の各地で広げることができればと思っています。

次に、12月14日には、オリンピックの事前キャンプ地に本市がなることでの国際交流の一環として、ブラジルの高校生が参加する全国大会に本市から派遣された高校生2名が市長のところに報告に参りました。非常に生徒間同士でも交流が深められて、大変意義深い経験をしたというお話を聞いたところであります。こうした事業は、今後もいろんな形で行っていく予定であります。

それから、12月18日には、文部科学副大臣の丹羽議員のところに私と教育環境部長、学校施設課長等で、教育予算の要望を行ってまいりました。現在、国が補正予算の準備をしておりますので、学校の空調設備などの環境整備に要する補助金を大きく獲得したいということで、本市の実情等を訴え、お話をしてきたところであります。昨年もこうした要望を通じて多額の補助金を獲得しておりまして、それによってこの1年間、空調整備や学校施設の改修が進んだところでございます。

それから、年が明けまして、1日は元旦マラソンと寒中水泳大会を、また、6日には先ほど文化財のお話がありましたけれども、市の無形民俗文化財の指定を受けております、田名八幡宮の的祭という行事にお招きをいただいて、参加をしてまいりました。この行事

は子どもたちが矢を射る中で、今年1年の吉凶を占うという鎌倉時代から続いているものであります。

次に、1月7日には、本市の体育協会に加盟している、レクリエーション協会が昨年の秋に、生涯スポーツ優良団体ということで、文部科学大臣賞を受賞いたしましたので、その受賞の祝賀会がありましたので、こちらに参加をして、お祝いを申し上げてきました。

また、昨日、同体育協会での表彰式がございまして、そちらにも参加をしてきたところであります。今年は、田中仁スポーツ賞ということで、世界マスターズに80代で参加をして、三段跳びなど複数競技で優勝、若しくは入賞された石川信夫さんの表彰がありました。そのほか優秀選手の表彰の中には、2月に平壤で行われる冬季オリンピックに出場するショートトラックの齋藤選手や北京オリンピックにも参加して現在オリンピック代表候補入りを目指しているトライアスロンの井出選手、それから、飛び込みの寒河江選手も表彰がされたところです。

主な活動については、以上になります。

では、ここで次回の会議予定日を確認させていただきます。

次回は、2月9日金曜日、午後2時から市役所の本館2階、第1特別会議室で開催をすることで、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

野村教育長 それでは、次回の会議は、2月9日金曜日、午後2時00分から開催といたします。

では、ここで休憩をいたします。再開後の審議につきましては、公開をしない会議といたしますので、傍聴人の方、また関係する職員以外の方は、退出をお願いいたします。開始時間は午後3時10分といたします。

(休憩・15:01~15:10)

野村教育長 では、休憩前に引き続き、会議を続けます。

- - - -
相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審査会への諮問について

(公開しない会議 原案どおり可決)

- - - -
相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審査会への諮問について

(公開しない会議 原案どおり可決)

- - - -
保有個人情報に係る審査請求に対する裁決について

(公開しない会議 原案どおり可決)

- - - -
野村教育長 以上で、本日の日程は、全て終了いたしました。

これをもちまして、定例会を閉会いたします。

- - - -
閉 会

午後 3 時 5 4 分 閉会